

# 春の海を大満喫

桜井コース 愛媛県今治市

大高竜亮

海の景色を大満喫。砂浜をず  
ぶずぶと歩き、最後はパノラ  
マが待っている。

桜井コース 10 km 10 ポスト  
愛媛県 No.1 JOA 公認 No.204

## 瀬戸内 PC めぐり

今回のレポートは、パーマナントコ  
ース紹介の連載では初めてとなる愛媛  
県のトップバッター、「桜井」コースで  
す。

コースの所在地は、愛媛県最北部に  
位置する今治（いまばり）市。平成 17  
年に 11 町村を合併し、松山市に次いで  
愛媛県第 2 の都市となりました。また、  
県庁所在地を除くと四国で最も広い面  
積を有する自治体でもあります。余談  
ではありますが、この合併に伴って愛  
媛県で 2 つだけ残っていた村「朝倉村」  
と「関前村」がなくなり、愛媛県から  
は村が消滅しました。

今治を語る上で欠かせないのが「しま  
なみ海道」。正式名称は「西瀬戸自動  
車道」といい、1999 年に来島海峡大橋、  
多々羅大橋、新尾道大橋が完成し、全  
ての橋梁が竣工していましたが、昨年  
「大島北～大島南」「生口島北～生口  
島南」の 2 区間の陸道部が完成し、全  
通の運びとなっています。途中途中で  
一般道を走らされた頃が懐かしくも感  
じます。

今回は新年早々瀬戸内 PC めぐりを  
企画。岡山の「金光」コース踏破後、  
倉敷からレンタカーを借りて、広島  
の 2 コースを歩き、しまなみ海道を通  
って今治入りしました。

## 再開された桜井コース

「桜井」コースへは 2 度目の挑戦と  
なります。前は 9 年前の 97 年 10 月。  
この時は、開設当初のコースが休止と  
なり、現在の を結ぶ 6 ポ  
ストのショートコースで暫定的に再開  
していました。それから 2 年後の 99 年  
にマップ改訂と同時に初代コースに  
限りなく近いロングコースが再編成さ  
れ、復活を果たしています。

コース誕生時のスタート地点は「東  
予国民休暇村レクリエーションセン  
ター」でしたが、2 代目コースからは、  
かつての第 5 ポストに近くに建設され  
た「クアハウス今治」に移されています。

交通機関は今治駅からクアハウスま  
でバスが走っていますが、私はレンタ  
カーで今治駅前の宿から直行しました。  
マップはコース図入りのものを持参し  
ていたのでそのまま歩き始めましたが、  
クアハウスを訪ねると「今は扱ってい  
ない」というつれない返事。9 年前はす  
ぐに出してきてくれたものが、こうし  
て忘れられてしまうものかと残念な気  
持ちになります。今は市教育委員会に  
確認したほうが良さそうです。

## 序盤はカンタン

マップは四国自然歩道「さざなみ探  
勝路」コースの踏破にも使用できるよ  
うに作図されていて、パーマナントコ  
ースはエリアの南半分のみを歩きます。  
ロングコースになったとは言っても、  
ごんまりとした印象が伴う設定です。

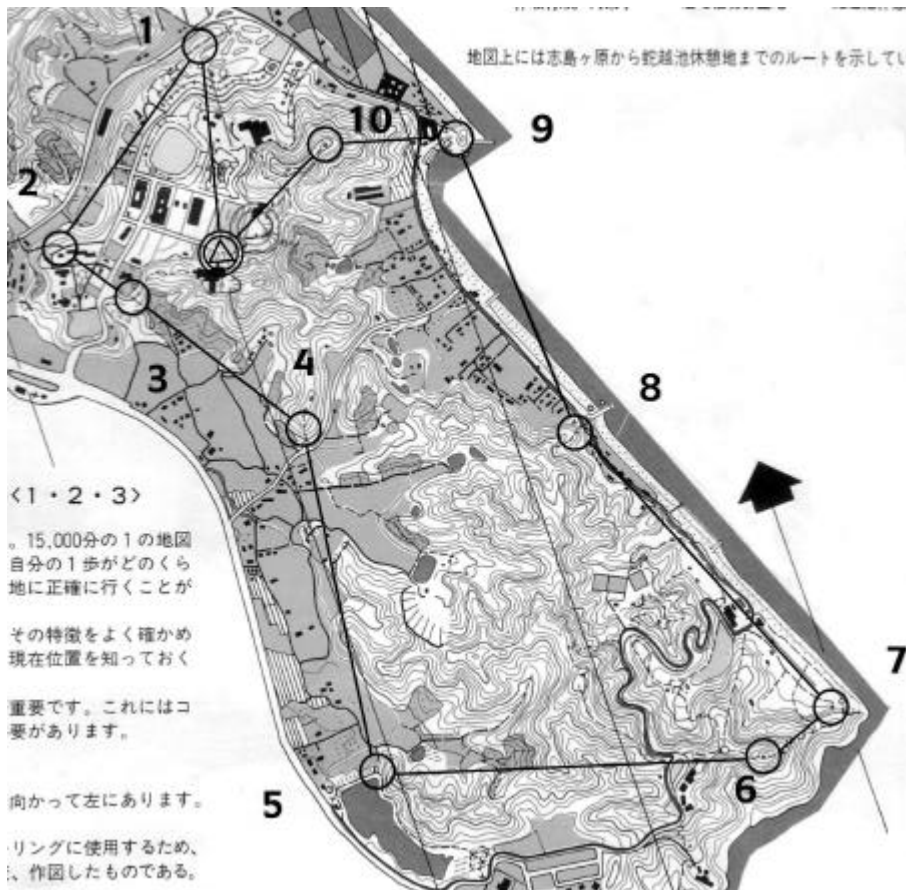
スタートは 8 時 18 分。印刷されたコ  
ース図のスタート地点の位置が異な  
っていることは特に気にせず、リゾ  
ートホテル街へ向かいます。桜井総合公  
園内の整備された歩道を進むと道端に  
ある第 1 ポストの発見は容易です。前回

は第 4 ポストだったそれは、記号の色  
落ちが進んでいるものの、変わらぬ佇  
まいを見せています。

OL らしからぬエリアは今しばらく  
続きます。出戻りをし、舗装道路を僅  
かに南西に向かうとすぐに第 2 ポスト  
に到達。驚いたことに、前回は低い松  
の木に囲まれるように立っていたポ  
ストが、今はすっかり背の高さで差を  
つけられています。止まっているよう  
に見えても、木の成長の早さを改めて  
実感します。

第 3 ポストはすぐそば。フェンスの  
横にこれまた変わらず立っていますが、  
これまでのポスト同様に、記号がす  
っかり消滅しています。後ろに回り込  
んで辛うじて判読できるという状態  
です。

果樹園沿いの道を下ると、ここから  
はしばらく平坦な里道を歩きます。山  
すそにある「細埜神社」の石段をわず  
かに登り、狛犬の後ろに立っている  
のが第 4 ポストです。



## 隠れたみどころ？

第5ポストからは楽しみな未踏破エリア。2通りあるルートのうち、国道に近い西側のルートを選択します。見通しの利くエリアのため目指す堤を見据えながら、ぐいぐい歩いていきます。「蛇越池」を見下ろす位置に立つポストの発見はとても簡単。新たに組み入れられたポストだけに少しは新しいかと思いきや、平成4年の補助金で更新されたものであることは、これまでのポストと同じです。設置だけは同時に行い、7年後に組み入れられるまで放置されていたとすると、ちょっと可愛そうな気がします。記号もすっかり退色しています。この「蛇越池」、県指定の天然記念物「サギ草」などが見られるスポットとして有名なところ。定植活動も盛んに行われ、熱の籠った保護活動が実践されています。見ごろは7月末から。しらさぎそっくりの可憐な白い花を咲かせます。



蛇越池堤にある第5ポスト

この先、山すその小道の歩行は可能です。舗装道路に出たら東に進み、坂を上ったところにある大きなクリーム色の建物が「休暇村瀬戸内東予」です。この裏から第6ポストへ向かう遊歩道

が続いています。休暇村を訪れる人たちが利用する散策路となっているため、すいすいと歩ける道を進むと、東屋の近くにポストが置かれています。

## 最後に待つパノラマ

そのまま下ると「瀬戸内海国立公園」の風光明媚な海岸線が迎えてくれます。隣接する第7ポストは疎林の中にあり、驚いたことにすぐ近くにはかつての最終ポストが撤去されずに残されています。さすがに横倒しになってはいますが、赤色も鮮明。PCファンとしては、こうした歴史のあるポストに出会えるのはうれしい限りです。

この先第9ポストまでは海岸の景色を大満喫。はじめは面白がって砂浜をずぶずぶと歩いていきます。しかし、さすがにこれでは歩きにくいと感じ始めると道路に移り、快適な直線路を北進。平安年間に弘法大師が石窟を拓いて里人の病氣治癒にあたったという石風呂（7～9月開設）の前から僅かに山に入ると第8ポストが立っています。

第9ポストへのルートのちょうど中間点で、第4ポストからつながるルートと合流。今回はここを歩いてきたため、これ以降は重複ルートとなります。国立公園には不似合いなファッションホテルの横を抜け、波打ち寄せる海岸を伝うと、海辺の小高い丘に到達。ここにポストが置かれています。潮位によっては、砂浜側からのアプローチはできないこともあるでしょう。小船が浮かぶのどかな風景が穏やかな気持ちに誘ってくれます。

最後の最後で心臓破りの坂道が待ち

受けていますので、覚悟の程を。「今治湯ノ浦ハイツ」まで上り詰め、さらここから遊歩道が伸びています。最後の力を振り絞って上っていくと、展望台に到着。海岸線から見るのとはまた一味違う光景が広がっています。比較的平坦だったコースからするとこの上りは堪えますが、眼前に広がる遠景が疲れを吹き飛ばしてくれるでしょう。ポストも9年前と同じところにまっすぐ立っています。

引き返して歩道を下ると、クアハウスは目の前に見えてきます。

所要時間2時間14分。10kmコースにしてはかなり早く回り終えました。本来ならここでクアハウスに入って汗を流したいところですが、今日はもう1つ回る予定にしています。一息つくのはまだまだと割り切って、一路香川へ向かいました。

家族で回るのなら、第7ポスト近くでレジャーシートを敷いてお弁当、コースが終わったらみんなでお風呂、なんていう感じで楽しむと最高です。

今治へは尾道からもバスが出ていますので、ぐるりと瀬戸内海をめぐるオリエンテーリングの旅もお薦めです。

(2007年1月6日 踏破)

(大高竜亮)



第8ポストへ向かう途中の海岸線